

東濃社会教育だより No15 — 石井修編 —



恵那県事務所
振興防災課 振興防災係
社会教育担当:長瀬
〒509-7203
恵那市長島町正家後田 1067-71
TEL:0573-26-1111 内線 208

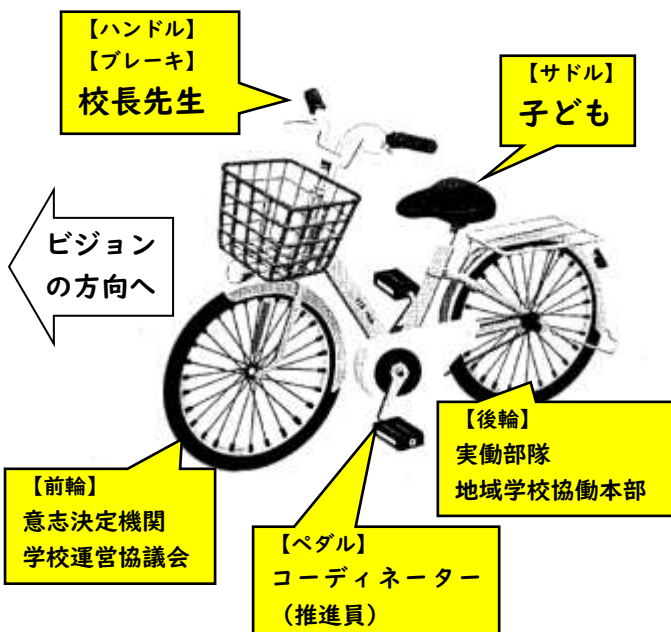
CSマイスター派遣事業を恵那市教頭会で開催



恵那市は教頭会において、コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動のより一層の推進をめざし、文部科学省コミュニティ・スクール推進員（CSマイスター）を招いた研修会を開催しました。地域コーディネーターとして活躍中の大谷氏の話は、地域を巻き込んだ興味深い活動事例が多く、今後の活動のヒントとなる研修でした。

ボランティアを集めるテクニックと声かけ
【テクニック】しかけ・きっかけ・声かけ
【声かけ】さすがですね
いつもありがとうございます
いつも助かります

学校運営協議会と 地域学校協働本部の関係



日時：11月19日(火) 14:00～15:00

場所：恵那市役所

参加者：恵那市内小・中教頭等（28名）

研修内容

文部科学省CSマイスター
ゆめ☆まなびネット代表
地域コーディネーター
大谷 裕美子 氏



「地域とともにある学校づくり」

大谷氏からの講話：抜粋

- 社会に開かれた教育内容
→授業の中でも地域の人材を活用したい。
 - 相互に話し合う「熟議」が大切
→合議体である学校運営協議会では、委員全員の意見が反映されるように工夫が必要。(付箋の使用、少人数での意見交流)
 - 学校運営委員会への教職員の参加
→全教職員に、学校運営協議会の活動を、知ってもらうために、年間1回は参加する。
 - 地域と学校の関係
→地域と学校が貸し借りの関係とならないように、コーディネーターから、地域やPTAに説明をしてもらうとよい。
→協働であることを理解してもらう。
 - 児童生徒との関わり
→机上では、学べないことを行う。
- 【CS推進のアドバイス】
「今あることをより良くすることも課題。小さな困りごとを変えていくつもりで。」

岐阜県生涯学習・社会教育総合推進会議が開催されました

生涯学習に係る行政担当者や学校支援コーディネーター等が一堂に集う、岐阜県生涯学習・社会教育総合推進会議が開催されました。

浦崎氏の話から、学校と地域が連携・協働して、人づくりと地域づくりを一体的に展開することの大切さを学ぶことができました。また、ワークショップでは、「それぞれ違う立場であっても、いろいろな場面でつながっている」ことを再確認するとともに、交流を通して学んだことを「今後の実践に活かそう」と前向きな気持ちで締めくくることができました。

■質疑応答：浦崎氏の回答より 抜粋

Q：学校（児童生徒）は忙しい。いつ連携すればよいか？

A：地域との連携は無理をせず、最初は、年間1回できればよい。地域との協働は、子ども数名のスタートでよい。新しいことはイメージが沸かない。普段と違う地域で活躍する子どもの姿を、多くの人に見てもらうこと。連携することの良さをイメージして推進していくこと。PTA役員など、地元のネットワークを持っている人に力を貸してもらうとよい。最初は最低限（5～6人）のチームをつくとよい。

Q：学校とどう関わっていけばよいか？

A：地域側から提案して、まずは、学校の困りごとを聞く。10の困りごとのうち、1～2個は何とかなる。それを、きちっとアシストしてやる。丁寧に聞き取ること。人間関係が大切。

日時：11月25日（月）

10:00～16:00

場所：中濃総合庁舎

参加者：52名

■基調講演

「若者の郷土愛を育む地域活動
～地域学校協働活動と地域づくり～」

講師：大正大学地域構想研究所

浦崎 太郎 氏

【講話より 抜粋】

□若者が帰属意識をもつ集団・場所

- ① 親近感・一体感をもてる人たちがいる
- ② 自分をそこで表現できた
- ③ 自分がそこで成長できた



若者は自分に無関心な地域には戻ってこない。信頼を寄せる大人から誘われれば喜んで参加し、一緒に挑戦し、表現・成長できる。

□身近な小中学生に対してできること

高校と地域の連携…大きな課題

- ・地域デビューが高校入学後だと深められない
- ・「課題発見&解決学習」を深められない
- 身近な大人や地域の親近感・一体感醸成

地域学校協働活動のポイント

- ・子供を地域に迎えてまちづくりをすすめる



多治見市教頭会で、CSと地域学校協働活動に係る研修会を開催しました

少子高齢化や人口減少、東京一極集中等、地域課題の解決を目指して、文部科学省は、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体化を推進しています。近年、様々な団体の大会等で学校と地域の協働による実践発表が増えてきました。

今回の研修は、今後管理職としてより一層大切になる「学校と地域との協働に係る学校運営マネジメントについて」お話させていただきました。

社会教育団体、教職員研修等において、CSや地域学校協働活動に係る国や県の動き、東濃地区の状況等の説明に長瀬が伺います。要望があれば、県事務所にお尋ねください。

（電話：0573-22-1111 内線208 担当長瀬）

日時：12月6日（金）

場所：笠原中央公民館 13:30～14:30

参加者：市内小中学校の教頭先生

内容：地域と学校の連携・協働の推進について

- 学校と地域の連携・協働が推進される社会的背景
- 学校評議員と学校運営協議会の違いは？
- コミュニティ・スクールの説明と現状
- 地域学校協働活動（本部）ってなに？
- 今後、大切なマネジメント
- ぎふ地域学校協働活動センターの紹介
- 質疑・応答